

# 和合

No.162  
2025. 1. 1

題字：三浦修次



## 主な掲載記事

- 和合の里がんばり屋さん！…2
- はやくおっきぐなれの～！…3
- 人生100年時代……………3
- 四小通信……………4
- わたしが描く和合の里……………5
- わたしから見た和合の里……………5
- よつばっこ通信……………6
- くらしの安全情報……………7
- わごう駐在所……………7
- 稲種“亀ノ尾”創選者阿部亀治記念第6回和合の里フォトコンテスト入賞作品……………8
- 和合の里 INFORMATION……………10

阿部亀治記念第5回和合の里フォトコンテスト一般の部「優良賞」  
作品名「板彫仁王は見ている」 撮影者：佐藤正人 撮影場所：南野



10月26日(土)から11月4日(月)まで余目第四まちづくりセンターで開催された「和合の里秋まつり」(交流事業推進部会主催、部会長菅原清一)に出展されたがんばり屋さんの中から、その一部を紹介します。

## 実演会・即売会を実施～由右エ門ほうき伝承の会～

由右エ門ほうきは、古閑を中心に、古くから冬の農閑期に手作りの作業として、ほうききびを原料として作られてきました。その伝統を繋げて行くため、川井由右エ門氏が平成の時代に、自身の作り方を後世に伝えるべく伝承の会を立ち上げました。その会は、今は亡き由右エ門氏の技術を引き継ぎ「由右エ門ほうき伝承の会」として活動しております。

秋まつりのこの日、まちづくりセンターのロビーでは、ほうき作りの実演会、即売会が開催され多くの来場者がいらっしゃいました。



実演会、即売会は今年初めての試みですが、当日は足を止めて見学したり気に入ったほうきを購入したりする方の姿もあり、ほうきについての説明に興味深そうに聞いておりました。

## 草月いけ花サークル

秋まつりの開催に合わせ、2日前からご準備いただきました。美しい色合いと洗練された飾りつけで、展示期間中会場を訪れる方々を楽しませてくれました。



## まごころこめて作りました 秋まつり作品展

多くの出展をしていただいた作品の中から、毎年素敵な作品を出展してくださる方々をご紹介します。



成澤しんさん(西袋)から今年のはちぎり絵、押絵、灯籠<sup>とうろう</sup>、刺し子等19点を出展していただきました。やさしい色合いの作品を見た方からは「毎年がんばるの」と感想をいただきました。

こちらは梅木<sup>ひとし</sup>仁さん(廻館)の作品です。廃材を加工して作ったという衝立<sup>ついたて</sup>や小物細工96点を出展いただき、その完成度に驚いた方も多いのではないのでしょうか。梅木さんから一部の作品を寄贈いただき、まちづくりセンターで展示しております。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。





パパとママにインタビュー

# はやぐおっきぐなれの～!



## 🍀 1 名前の由来は？

「太陽のように暖かく、大らかな心で幸せになって欲しい」という願いを込めました★  
大きくなった時、自分の名前が好きと言ってくれたらいいなあと思います!

## 🍀 2 今一番の興味やはまっていることは？

車のおもちゃ、絵本が大好きです♥バスを「バフ!」、救急車を「クウクウカア!」と指をさして教えてくれます🚗 どこにいても車の絵本は必須です…笑

## 🍀 3 最近記憶に残ったエピソードは？

最近ジャンプをマスターしたようで、楽しくなるとピョンピョンと連続ジャンプを披露してくれます! また、なぜか絵本の「イカ」を見てニコッと笑います😄

## 🍀 4 パパママの失敗談 (子育てあるある)

「もう1回!!」を人差し指を立てて全力アピール!  
「高いたか～い」「だっこ」が永遠と続くのでした…👉(やらないと拗ねてグズグズするのでした😅)

## 🍀 5 パパママからのメッセージ

いっぱい遊んで、いっぱい寝て、いっぱいおいしいものを食べて、元気に育ってね😊  
みんなでいろんなところに出かけて思い出作ろうね!



ささき はる  
佐々木 陽琉ちゃん

(小出新田)

令和5年5月7日生まれ

パパ: 瑞生(みずき) ママ: 凧沙(なぎさ)



# 人生100年時代

## 備えは元気な時に!自分の人生と大切な家族のために

保健福祉課 高齢者支援係  
日向 唯



今は病気もなく元気ですごせていても、万が一の時はいつ来るかわかりません。皆さんは、自分が意識不明の状態になったり急に亡くなった時に備えて、家族に以下のようなことを伝えられていますか。

- 延命治療を受けるかについての希望
- お葬式の希望 (様式、呼んでほしい人など)
- 預金のある金融機関や加入している生命保険など
- 保証人になっているものがある、借金があるなど
- 管理しているSNSのアカウント情報があるなど

故人の財産は、相続されるまで整理することができなくなります。故人の希望を家族が叶えたいと思っても、その希望やお金の所在などがわからなければ十分に希望を叶えることはできません。

万が一に備えて自分の希望を残しておく方法として、遺言書やエンディングノートの作成があります。遺言書は適切に作成すれば法的な効力がありますが、エンディングノートは法的な効力はありません。それでも家族にとっては書いた本人の意思を知ることができる重要なものです。

備えは日々の安心にもつながっていきます。これまで関わってきた自分の大切な人たちのために、何より自分のために、一度考えてみませんか。

■ 問合せ: 保健福祉課 高齢者支援係 TEL 0234-43-0490



えがお 輝く 四小っ子

# 四小通信



【校訓】三愛精神「人を愛し、ものを愛し、学問（真理）を愛する」

## 四小の「実りの秋」の様子です

今年の秋の天候は、暑い9月、暖かい10月で、ようやく11月で秋らしくなったという感じでした。四小の子どもたちは、天候に関わらず努力を積み上げ、「実りの秋」を迎えました。

### 10/26 学習発表会

欠席した人がいなくて、全校児童117名で合唱することができました。各学年の発表も、練習の成果を発揮して大成功でした。



### 11/13 はたらく車

安藤組グループさんから、「はたらく車」を見せていただきました。ミキサー車・ダンプカーとゴミ収集車の仕組みを教えていただきました。



### クラブ活動 地域の先生



今年度、手芸クラブに3名の「地域の先生」から指導していただきました。ありがとうございました。コロナ禍が終わり、来年度は他の活動でもお力を貸していただきたいと思ひます。地域のみなさま、よろしくお祈ひします。

### 10/30・11/1 持久走記録会



グラウンドにコケが生え、除草剤を撒いたため練習の回数が十分ではありませんでしたが、持久走の記録を測りました。応援ありがとうございました。



余目第四小学校 6年生  
わたしが描く和合の里



**ぼ**くが描く和合の里は、思いやりがあり、自分からあいさつができるというものです。自分から会釈などができて、こまっている人をたすけることができる人がたくさんいるのが和合の里だと思います。これからも思いやりなどをふやしていきたいです。



**私**が住んでいる西袋には、獅子踊りがあります。私や姉も、着物を着て「ささら」を担当したことがあります。父もずっと、獅子を続けています。小さい頃から、父や姉が獅子踊りに参加しているのを見ていたので、自分が参加できた時はとても嬉しかったです。西袋に受け継がれている獅子踊りをこれからも大切にしたいです。



**ぼ**くにとっての「和合の里」は、自然がとても豊かなところです。ぼくはこの自然を未来にのこしていきたいと思います。そのために、ごみひろいをしたり、リサイクルをしたりして、ごみを減らし、「和合の里」の自然を大切にしていきたいです。

わたしから見た  
和合の里



庄内町立余目第四小学校  
教諭 柿崎 紗也子

温かい人・豊かな自然 いっぱい

**四** 月からお世話になり、早くも半年が過ぎました。今年度は、二年生の担任をしていることもあり、生活科の町探検で四小学区を回り、和合のよさにたくさん気付きました。

一、温かい人がたくさん

子どもたちと学区を歩いていると、「こんにちは。」と明るくあいさつしてくれたり、見学先では、優しく丁寧に説明してくれたりする地域の方がたくさんいました。

二、豊かな自然がいっぱい

豊かな田園風景の中で風を感じたり、鳥海山や月山を見たりしたときには、子どもたちから「この風や風景がいいんだよ。」と自分たちの住んでいる地区のよさをたくさん教えてもらいました。

町探検を通して、子どもと一緒に和合の里のよさをたくさん感じました。これからさらによさを見つけていきたいです。町探検でお世話になったみなさま、ありがとうございました。これからも、よろしくお願ひします。





余目第四幼稚園

# よつぱっこ通信



もうすぐ来る本格的な冬に備えて冬支度をしている子ども達。たくさん遊んだ砂場道具も子ども達で片付けました。子ども達が主体となって遊んだり、活動したりする姿が多くみられています(^)

## 年中と年長のかかわり♡

自然な流れで、様々な活動を年中さんに引き継いでいる年長さん!!この姿が来年度の年長につながります。4月～頼んだよ!(^^)!

焼き芋で使う落ち葉拾い!  
自然と年中年長のかかわりが  
あり、協力し合っています!



そっち  
持っててね!



年長の野球ごっこにピッチャー  
として年中さんが参戦!!

焼き芋当日!(^^)!  
新聞とアルミホイルで包んだ  
サツマイモを運ぶ時もみんな  
の力を合わせています♪



せ~の!!

カメの冬眠準備...zZ  
年長の様子を見に、年中も  
集まってきました。



葉っぱのお布団  
掛けるよ~!

## 子ども達でもできることいっぱい!!

まちづくりセンターの作  
品展に飾ってもらう看板  
を持っていく様子。作り  
たい子で作ったら、秋の  
自然物を取り入れて素敵  
な看板に仕上がりました。  
自分達で持って行くのも  
喜んでいました♪

看板作り  
楽しかったね♡



ここにも  
ある!

遊んだ後の片付けタイム~  
担任が声を掛けなくてもほうき  
を使ってきれいにしています!

# 事件、事故のない和合の里を くらしの安全情報

～冬の節電方法について～

東北電力株式会社 山形支店

**寒い冬を乗り切るには欠かせない暖房器具。  
使用割合が多いからこそ、効率よく使えば節電効果もUP!**

**Q** 家族の帰宅時間が遅いわが家。  
お風呂は保温と、入る直前に追い炊き、  
どっちがお得になるの？

### A. 高温で足し湯をするのが効率的

少ない電力でお湯を沸かすことができるエコキュートを使用した場合、高温で足し湯をするのが効率的です。追い炊きは、冷めたお湯の温度を適温まで温める必要があるため、その分電気代もかさみます。



**Q** 子どものミルク用に毎日お湯をたくさん使います。  
その都度沸かすのと、電気ポットを使用するのでは、どっちが節電になりますか？

### A. その都度沸かした方がお得

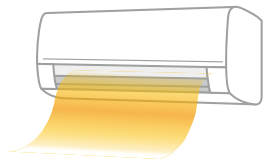
お子さんのミルクを作るだけなら、電気ケトルでその都度沸かした方がお得です。もし、他の家族がお茶やコーヒーを何杯か飲む場合は、電気ポットを使用した方がベター。電源のいらぬ保温性の優れた水筒を併用すると、より効果的です。



**Q** ちょっとした用事があり、30分くらい外出します。  
この間、エアコンはつけっぱなしでもいいのでしょうか？

### A. つけっぱなしの方がお得

30分程度の外出なら、つけっぱなしの方がお得です。エアコンはスイッチを入れた時が一番電力を消費しています。室内の温度と設定温度の差が大きくなればなるほど消費電力も大きくなるので、部屋の断熱にもひと工夫を。



#### あわせワザで節電UP!

- 厚手のカーテンや床まで届くカーテンを使って、冷気をシャットダウン。
- 扇風機やサーキュレーターを使い、温まった空気を循環。
- 室外機の周囲をきちんと整理し、風通しを良くする。

#### もうひと工夫でさらに節電UP!

- フィルターを月に1回か2回清掃。
- 設定温度を1度下げる。
- 使用時間を1時間短縮。

東北電力ホームページ「省エネ・節約手法のご紹介」には他にも節電方法を記載しておりますので、ぜひご覧ください!!



庄内警察署  
後藤 紘  
(第四学区担当)

## わごう駐在所

～庄内警察署からのお知らせ～

### 冬場の交通事故に 気をつけましょう!



気温がぐっと下がる冬の朝は、雪が降っていなくても路面が凍結しているおそれがあります。

路面凍結が発生する条件は、大気や路面の温度、時期によって様々ですが、特に凍結しやすい場所は、

### 橋の上、トンネルの出入口、陽の当たらない場所、交差点付近

となります。

事故に遭わないために「冬道の安全運転5則」を心がけた運転をお願いいたします。

- ① スピードは、夏場より10キロ以上減速する。
- ② 車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
- ③ 急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作を避ける。
- ④ 視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
- ⑤ 危険がいっぱい。追越はしない。



# 稲種“亀ノ尾”創選者 阿部亀治記念 第6回 和合の里 フォトコンテスト入賞作品

一般の部へ39点、小学生の部へ4点の応募があり審査の結果、次の作品が受賞されました。

## 一般の部

### 阿部亀治記念大賞

#### 「輝きの豊穡の大地」

(撮影場所:前田野目)

いしざき ゆきひろ  
石崎 幸宏 (狩川)

講評 秋の夕暮れに広がる雲と無数の並んだ杭掛けが夕陽に照らされて光っている様子が力強く感じられます。雄大な自然、夕陽の光をうまく表現しています。



## 庄内町長賞



#### 「神楽が来た!!ママ、助けて!!」

(撮影場所:沢新田)

ささき ひろし  
佐々木 弘 (私田)

講評 子供が獅子頭が近づき怖がっている感じをうまくとらえています。臨場感を逃さずシャッターが切れたと思います。

## 和合の里を創る会長賞



#### 「ふるさとの夏まつりI」

(撮影場所:南野新田)

さいとう ひろお  
齋藤 弘男 (鶴岡)

講評 神社で獅子舞を奉納しているシーン。子供たちの表情も見えてうまく瞬間をとらえています。

## 優良賞



#### 「田んぼがまるで火の海！」

(撮影場所:廻館地区国道47号線)

すぎやま ただお  
杉山 忠夫 (酒田)

講評 夕焼けが田んぼの水面に映り込み夕焼け色になっています。その風景の中に何か一つポイントがあればすごくよくなると思います。撮影するときに何に目がいったかそこを強調できるという写真になるでしょう。



#### 「うメェー」

(撮影場所:小出新田)

いがらし かずき  
五十嵐 一樹 (酒田)

講評 小出沼にいる羊たち。黒くつぶれやすい顔をうまくとらえています。表情もしっかり写っていて、アップにしたフレーミングの仕方もよいと思います。





### 「よろこびの秋」

(撮影場所:南野)

あらき しんや  
荒木 伸彌 (南野)

講評 稲刈り作業中の一コマ。手前に飛んでいるトンボが秋を感じられる写真です。



### 「春のひととき」

(撮影場所:小出沼公園)

あらき しんや  
荒木 伸彌 (南野)

講評 小出沼の桜の季節。歩いている人たちの会話が聞こえてきそうな雰囲気をとらえています。



### 「ご先祖様から着信」

(撮影場所:本小野方)

おおとも まさき  
大友 真樹 (本小野方)

講評 秋の田園に差し込む光を撮影した写真。撮影時はもっと光がきれいに見えたと思います。全体的にもう少し暗くプリントするともっと光が目立ったと思います。

## 小学生の部

### 阿部亀治記念大賞

#### 「一束一束ていねいに」

(撮影場所:前田野目)

いしざき かなめ  
石崎 叶芽 (狩川)

講評 杭掛けしている人を大きく撮影して表情がよくわかる写真です。このくらい近づくと臨場感も出ます。



### 庄内町長賞



「けしょう中のししたち」 いしざき たいが  
石崎 大賀  
(撮影場所:西袋公民館) (狩川)

講評 出番での最後の身支度シーン。表情もよく見えて状況が伝わります。

### 和合の里を創る会長賞

#### 「力強いし踊り」

(撮影場所:  
西袋公民館)

いしざき かなめ  
石崎 叶芽  
(狩川)

講評 しし踊りの動きが出ていていいタイミングです。獅子の顔が正面を向いてれば完璧でした。



### 優良賞



「いねのくいがけ」 いしざき たいが  
石崎 大賀  
(撮影場所:前田野目) (狩川)

講評 青空と杭掛けの写真。山が雲に隠れてしまい、見えなくて残念です。雲がなければより解放感のある写真になると思います。

## 避難所運営をシミュレーションしよう

和合の里を創る会自治部会（部会長 加藤隆一）主催の広域避難所運営研修会が、各集落の自主防災組織のリーダーを対象に11月12日（火）余目第四まちづくりセンター「和合館」で、講師に山形県自主防災アドバイザー千川原公彦氏を迎え開催されました。

基調講演では「能登半島地震から学ぶこと～広域避難所運営の視点から～」と題して、災害時の避難所の状況などお話しされ、今回の能登半島の災害や混乱は、余目でも充分起こりうると感じているとのこと。後半は、避難所運営ゲームを通して、避難所の運営のあり方を考えることができました。



町の担当者（危機管理係主任 林氏）からは、広域避難所運営の開設から運営、備蓄倉庫（余目第四まちづくりセンター駐車場の片隅）の保管物品について説明があり、その後広域避難所（余目第四まちづくりセンター、余目第四小学校、余目第四幼稚園）ごとに話し合いが行われました。

## 米の品種当てクイズの正解者は…？

和合の里を創る会産業振興部会（部会長 富樫一幸）は10月、まちづくりセンターに2種類の杭掛け稲を設置し、米の品種当てクイズを行いました。みなさん杭掛け稲の前を通りかかる度に「なんの品種だろう？」と悩んでいました。クイズの正解は【A：山形95号】【B：はえぬき】です。10名の回答があった中、2種とも正解したのはわずか1名でした。正解者の富樫文一氏（小出新田）には賞品を進呈しました。



## 第108回企画展

## 「清河八郎の尊皇攘夷 — 赤心報国回天倡始 —」開催中

清河八郎が目指した尊王攘夷を書簡や資料を通して紹介しています。

- ◆ 期 間/令和7年2月16日（日）まで
- ◆ 時 間/午前9時00分～午後5時00分  
（入館は午後4時30分まで）
- ◆ 休館日/12月28日（土）～  
令和7年1月4日（土）、1月16日（木）
- ◆ 会 場/庄内町亀ノ尾の里資料館
- ◆ 入館料/無料
- ◆ 問合せ/和合の里を創る会事務局  
（余目第四まちづくりセンター「和合館」内）  
TEL44-2162

